

不妊症への経絡治療

— 一般社団法人東洋はり医学会
関西方式を用いて —

特集
不妊症と
鍼灸治療

2



みつかわ ゆういちろう
三ツ川友一郎

三ツ川レディース鍼灸院
(一社) 東洋はり医学会関西 広報部長

大阪府出身。1994年、明治東洋医学院専門学校卒業。はり師、きゅう師。1998年、大阪府大東市にて開業。2005年、東洋はり医学会関西支部入会。2018年、(一社) 東洋はり医学会関西広報部長。

はじめに

晩婚化に伴う出産年齢の高まりは、不妊化の傾向を強めている。何らかの形で不妊の医療を受けたことがある夫婦は6組に1組。体外受精・顕微授精による出生見数は年々増加し、全国で誕生する赤ちゃんのうち、24人に1人は体外受精で妊娠した子どもで、少子高齢化が進む日本においては社会問題として、メディアで取り上げられることも多くなっている¹⁾。

そんななか、日本においても鍼灸を含めた東洋医学で不妊症が改善されることが急速に認知されるようになった。当院でも13年ほど前より不妊症を訴えて来院する患者が増えた。また、妊娠し出産した患者からの紹介もあり、現在では7割以上が不妊症で来院している。

当初は自然妊娠を望む患者が半分近く来院していたが、現在は生殖補助医療と併用し、その成功率を上げるために鍼灸治療で身体を整えたいという患者が増え、不妊で来院する患者の8割以上が生殖補助医療と併用している。

特に体外受精において卵子の質の低下が原因で妊娠そして出産に至らない、という相談を多く受ける。生殖補助医療の現場でも卵子の質を高めるためにサプリメントやヨガなどが推奨されている。そのなかの一つとして、鍼灸治療や漢方薬が身体を整え、生命力や妊娠力を上げて、卵子の質をよくすると期待されている。患者から、「卵子の成長がみられなくなっている」「採卵できても受精しなかったり、受精しても育たない」といった具体的な悩みを相談されるので、当院でも卵子の質を上げることを目的とした鍼灸治療を施すことが多くなっている。

卵胞の育ちが悪い、卵子の質が悪いといった

特集

場合、東洋医学的に次の1つのように考えている。

①腎の変動があり、ホルモンバランスが崩れ、卵胞の育ちが悪いケース。

②脾の変動があり、血（栄養素）を生成する力が落ちる、もしくは、血（栄養素）の吸収がうまくいかないケース。

③ストレスなどにより肝の疏泄、蔵血機能が失調して瘀血の状態になり、血が滞り、卵巣へ必要な栄養素が届かないケース。

④衝脈の流れが悪くなり、深いところが瘀血の状態になって卵巣に必要な血（栄養素）が届かないケース。

実際にこれらのケースが複合されているように思うが、体外受精を続けて複数回行い、ホルモン剤などを多用していると、瘀血が生じて衝脈の流れが悪くなっていることが多いと感じている。

不妊症への鍼灸治療の実際

筆者は、(一社)東洋はり医学会関西方式の経絡治療をメインに不妊治療を行っている。何といても身体の生命力を強化して妊娠力を上げる本治法が重要である。特に肝、心、脾、腎、衝脈を中心に診てバランスを整えるように心がけている。まずは四診法を行うが、不妊症の場合、初診時の問診は時間をかける。時に傾聴し、今までの経過をしっかりと把握する。そのうえで現状の課題を鍼灸でどうやって解決することができるかを説明する。その後、切診を行い、なぜいまだ妊娠に至らないのかを東洋医学的に考

えていく。

卵巣力を上げるには、特に骨盤内の血流をよくする必要がある。骨盤内の血流がよくなれば、卵巣や子宮に栄養分がたくさん届くからである。血の流れが悪いと、いくら血を補っても血が卵巣に届かず、よい卵子の確保につながらない。質のよい卵子が確保できない患者の多くは、水を含めた血の滞りである瘀血を最初に改善していくことが治療のポイントになると考えている。

標治法は以下のようなことを、そのときの患者に合わせて適宜用いる。

1. 中条流4点への押し灸

中条流4点に押し灸を3壮ずつ施す。押し灸は患部に手ぬぐい生地を4枚重ねたものを当て、その上から棒灸にて2~3回ポンポンと接触させ(図1)、その部を空いている手で押さえ込む(図2)。これを1壮とする。

中条流は患者の口角~口角の長さを測り、その半分の長さを一辺とする正三角形を画用紙で作成する。その正三角形の頂点を患者の臍の下のへりに当てて、下の角2点に印をつける(図3)。最初のメジャーで測った長さを、臍の下のへりに当てて下点に仮点をつけ、その点に三角の頂点を当てて、下の角2点に印をつける(図4)。この上下の2点を中条流4点とする。

2. 蠡溝、三陰交、中封、至陰に押し灸

左右を比べて圧痛の強い側に5壮、反対側に3壮、左右差がなければ両方3壮ずつ。中封の取穴部位は、足関節を背屈してはっきりする前脛骨筋の付着部と内踝尖を結んだ線上のほぼ中央付近の陥凹部を探ると著明な圧痛硬結があり、ここを取る。